

卒業時アンケート調査(2026年3月卒業者)の集計結果

<学科別実施状況>

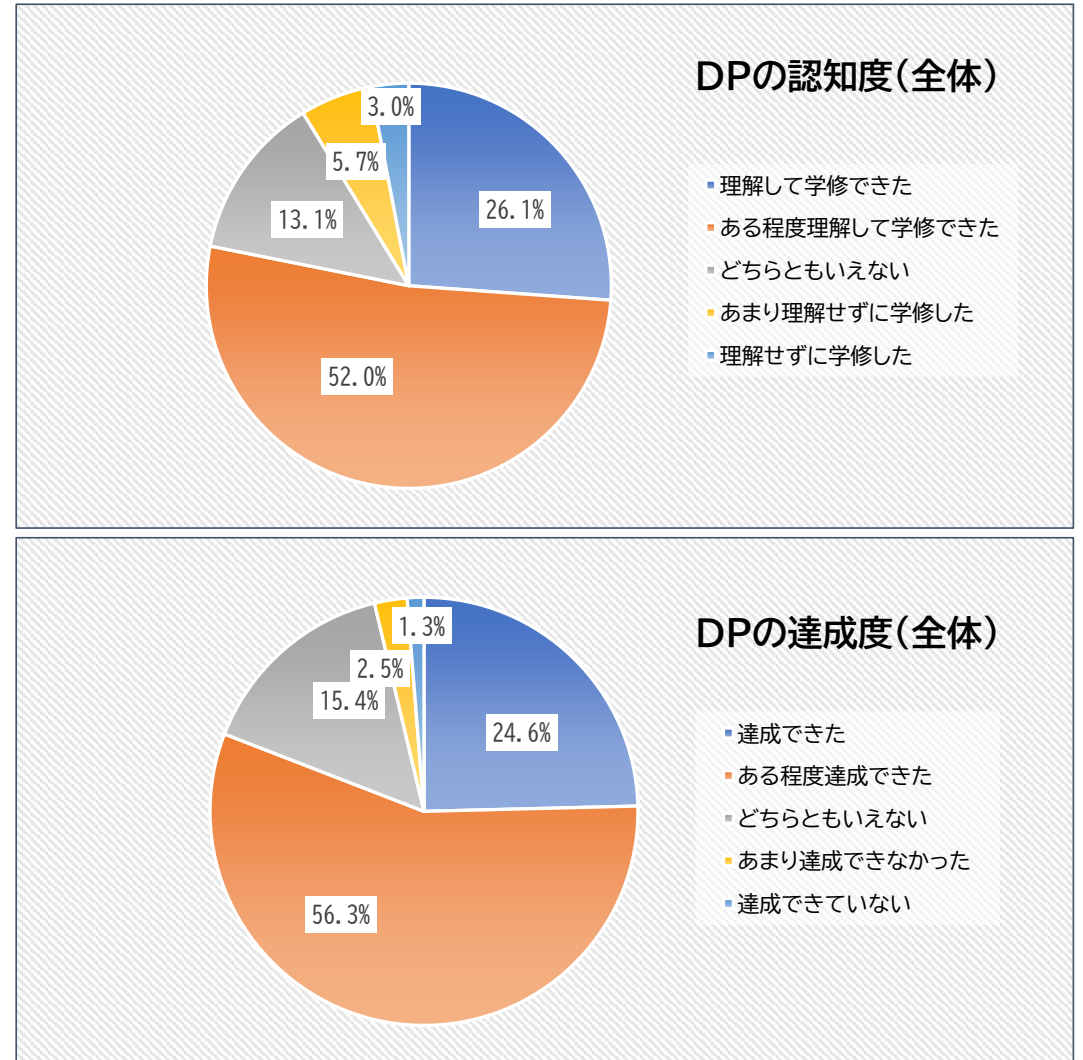
学科名	卒業者数	回答者数	回収率	未回答者数
機械工学科	141	137	97.2%	4
機械電子創成工学科	125	124	99.2%	1
先端材料工学科	110	107	97.3%	3
電気電子工学科	158	158	100.0%	0
情報通信システム工学科	123	123	100.0%	0
応用化学科	110	106	96.4%	4
建築学科	170	165	97.1%	5
都市環境工学科	138	138	100.0%	0
デザイン科学科	130	129	99.2%	1
未来ロボティクス学科	142	142	100.0%	0
生命科学科	124	115	92.7%	9
知能メディア工学科	120	117	97.5%	3
情報工学科	132	131	99.2%	1
情報ネットワーク学科	161	156	96.9%	5
経営情報科学科	114	110	96.5%	4
プロジェクトマネジメント学科	121	114	94.2%	7
金融・経営リスク科学科	60	58	96.7%	2
計	2,179	2,130	97.8%	49

昨年度参考: 95.6%

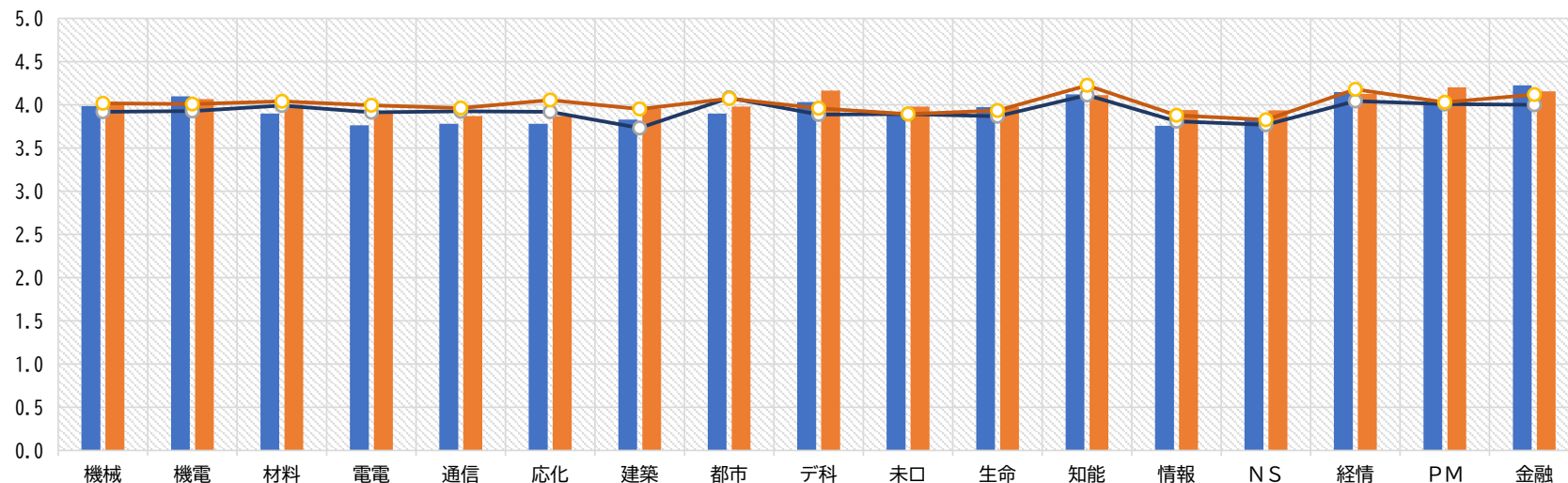
<質問カテゴリ>

- ①DPの認知度及び達成度
- ②基礎能力の自己評価及び学修度
- ③カテゴリ別の進路影響度及び進路満足度

①DPの認知度及び達成度



学科別 DP認知度・達成度(平均値)

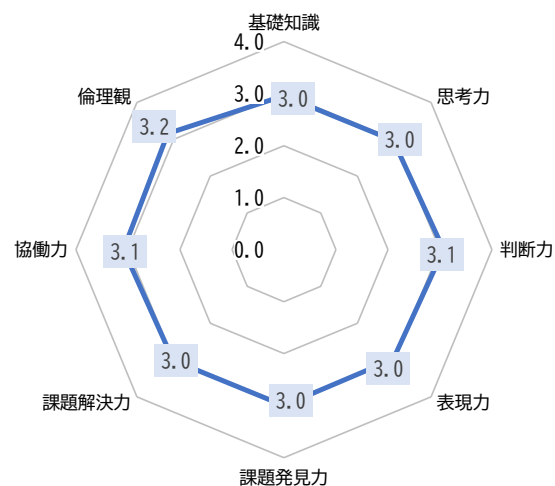


平均値は学科毎に個別の回答状況を総合して平均をポイント化したものであり、それぞれ5ポイントが満点となる。

■ 2025集計_DP認知度
 ■ 2025集計_DP達成度
 ● 2024集計_DP認知度
 ● 2024集計_DP達成度

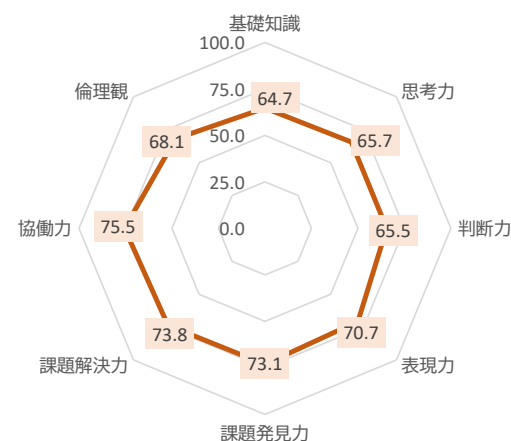
②基礎能力の自己評価及び学修度

基礎能力の自己評価(全体) ※ルーブリック評価 平均値



基礎能力の自己評価(全体)は、各能力のルーブリックに基づき学生個人が自己評価した回答状況を能力毎に総合して平均をポイント化したものであり、それぞれ4ポイントが満点となる。従って、ポイント値の高いほど、より各能力の成長実感が高いといえる。

基礎能力の学修度(全体)※成績評価 平均値



基礎能力の学修度(全体)は、各能力と授業科目の紐付けに基づき、当該科目の成績評価(S, A, B, C)に応じて、ポイント化されたものを平均にしたものであり、それぞれ100Pが満点となる。従って、ポイント値の高いほど、より各能力の成績評価が高いといえる。

【基礎能力の自己評価(学科別)】

各能力のルーブリックに基づき学生個人が自己評価した回答状況を能力毎に総合して平均をポイント化したものであり、それぞれ4ポイントが満点となる。

従って、ポイント値の高いほど、より各能力の成長実感が高いといえる。

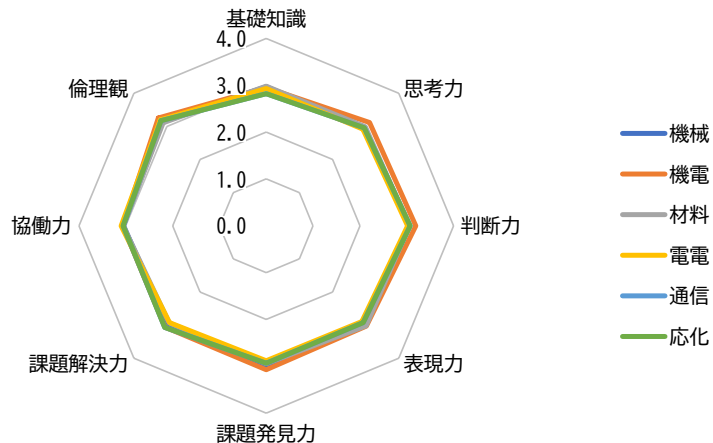
【基礎能力の学修度(学科別)】

各能力と授業科目の紐付けに基づき、当該科目の成績評価(S,A,B,C)に応じて、ポイント化されたものを平均にしたものであり、それぞれ100Pが満点となる。

従って、ポイント値の高いほど、より各能力の成績評価が高いといえる。

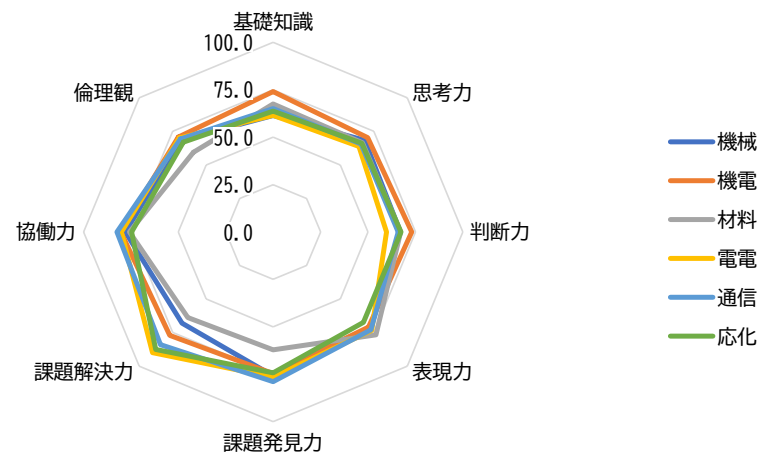
工学部

基礎能力の自己評価(学科別) ※ルーブリック評価 平均値



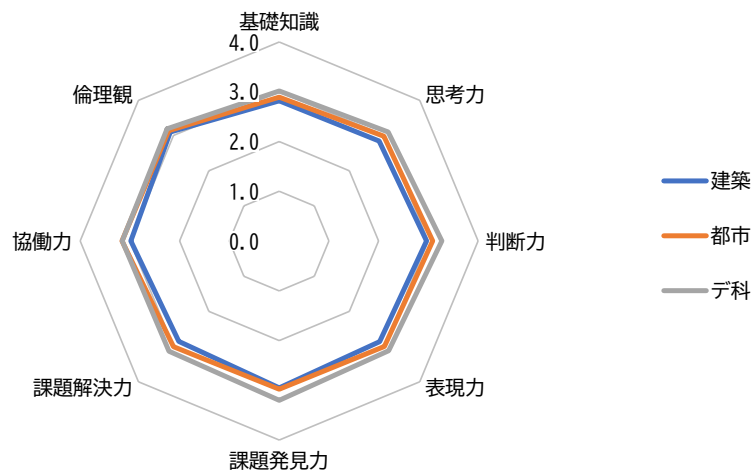
工学部

基礎能力の学修度(学科別) ※成績評価 平均値



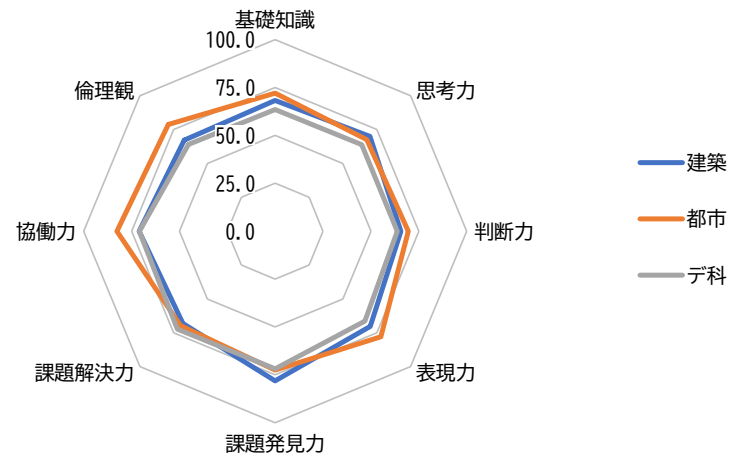
創造工学部

基礎能力の自己評価(学科別) ※ルーブリック評価 平均値



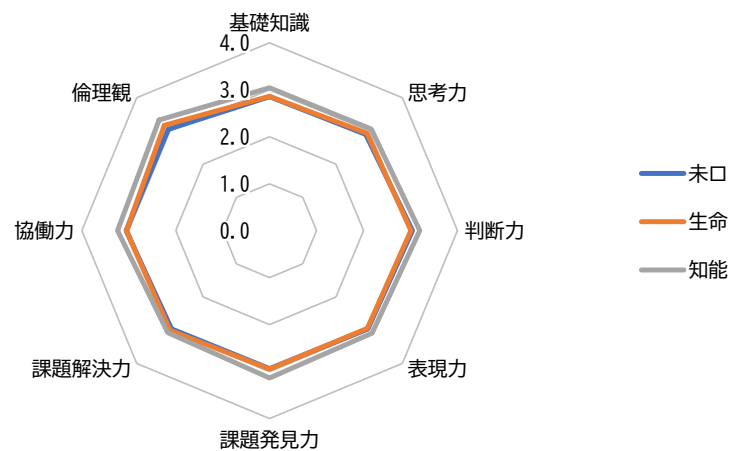
創造工学部

基礎能力の学修度(学科別) ※成績評価 平均値



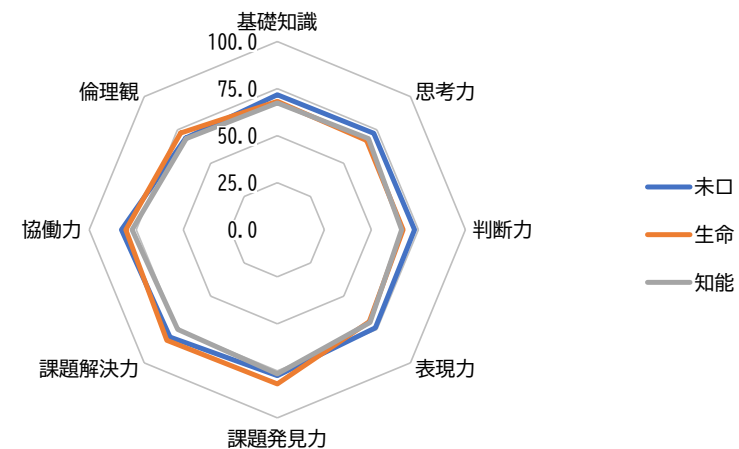
先進工学部

基礎能力の自己評価(学科別) ※ルーブリック評価 平均値



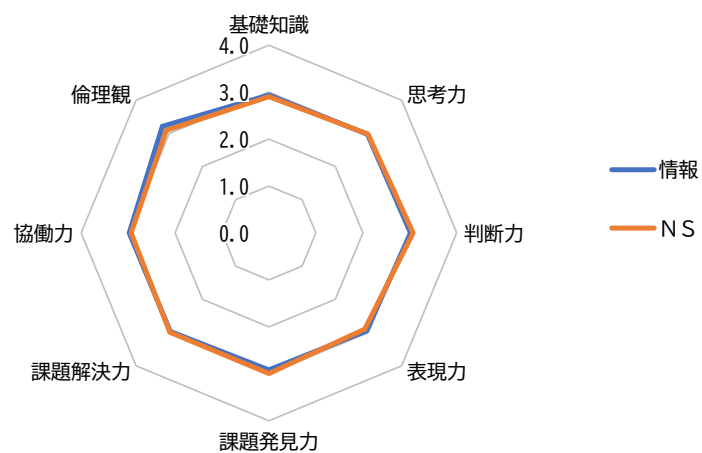
先進工学部

基礎能力の学修度(学科別) ※成績評価 平均値



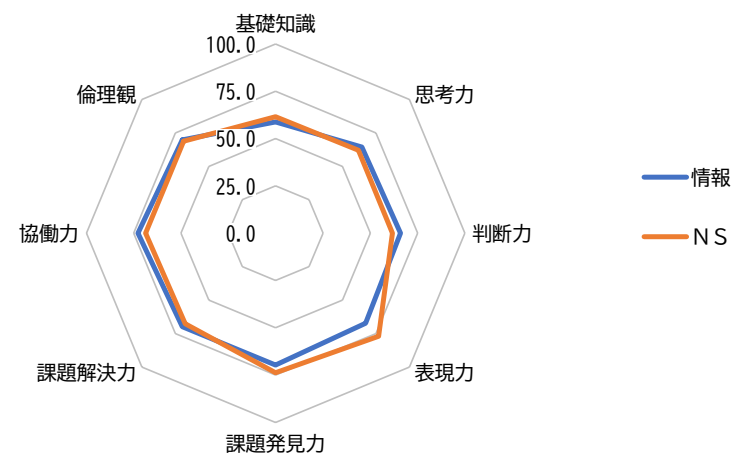
情報科学部

基礎能力の自己評価(学科別) ※ルーブリック評価 平均値



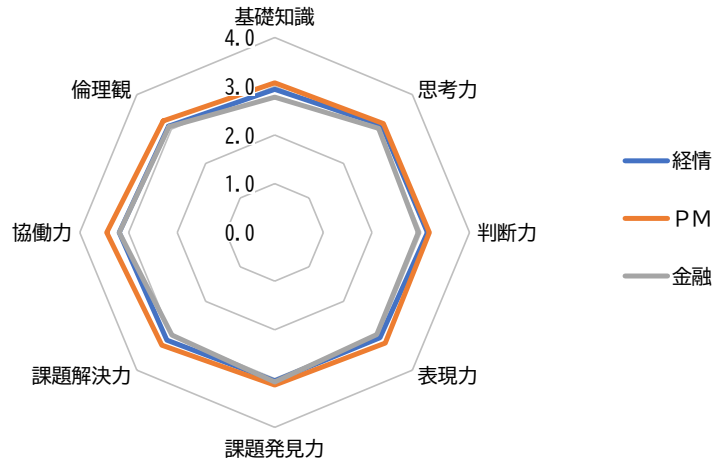
情報科学部

基礎能力の学修度(学科別) ※成績評価 平均値



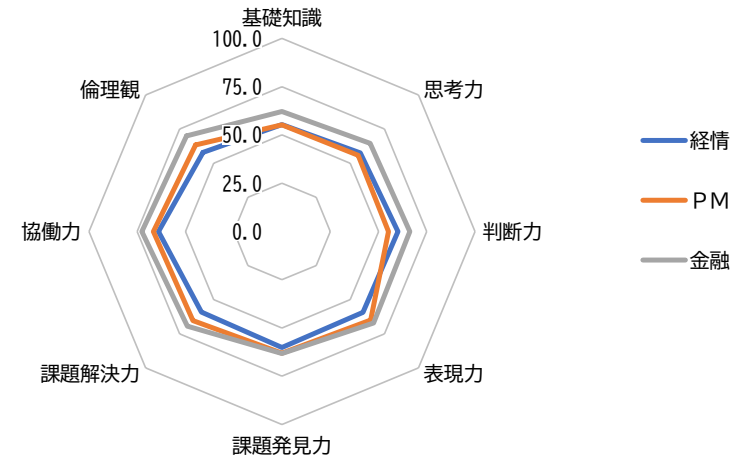
社会システム科学部

基礎能力の自己評価 ※ルブリック評価 平均値



社会システム科学部

基礎能力の学修度 ※成績評価 平均値



(参考)各能力項目の点数内訳

【基礎知識】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 必要な知識については、テキストや文献を把握している。
- 3 必要な知識については、テキストや文献の記載箇所を把握している。
- 4 必要な知識については、テキストや文献の記載箇所を把握しており、自分の解釈も加えて他者に説明できる。

【思考力】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 結果や到達度を予測し、そこに至るまでに必要な段階的プロセスを示すことができる。
- 3 結果や到達度を予測し、シミュレーションを行うことで、異なる結果が生じた場合の対応も含めて段階的プロセスを示すことができる。
- 4 結果や到達度を予測し、シミュレーションを行うことで、異なる結果に応じた複数の段階的プロセスを示すことができる。

【判断力】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 必要な複数の要素や素材を整理し、複数の要素や素材に基づいて判断することができる。
- 3 必要な複数の要素や素材を整理し、それを総合的に組み合わせる適切な判断をすることができる。
- 4 必要な複数の要素や素材を整理し、それを総合的に組み合わせると共に、先行事例も踏まえて適切な判断をすることができる。

【表現力】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 思考や判断のプロセスをまとめ、伝える順序を整理しながら分かりやすく他者に伝達することができる。
- 3 思考や判断のプロセスをまとめ、伝える順序の整理に加えて、自身の考えを交えながら分かりやすく他者に伝達することができる。
- 4 思考や判断のプロセスをまとめ、伝える順序の整理に加えて、自身の考え、聞き手の反応、問い掛けを交えて分かりやすく他者に伝達することができる。

【課題発見力】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 物事を客観的に捉え、現状と予測の間にあるギャップを的確に認識し、一定の課題と捉えることができる。
- 3 物事を客観的に捉え、現状と予測の間にあるギャップを的確に認識し、現状に至った経緯や背景を調査したうえで、明確な課題と捉えることができる。
- 4 物事を客観的に捉え、現状と予測の間にあるギャップを的確に認識し、現状に至った経緯や背景と自身の仮説を総合的に調査したうえで、明確な課題と捉えることができる。

【課題解決力】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 何が論点であるかを的確に捉え、解決に必要な要素や素材を整理し、解決までの段階的プロセスを示すことができる。
- 3 何が論点であるかを的確に捉え、解決に必要な要素や素材を整理し、解決までの段階的プロセスを示しながら、実行プランを作成することができる。
- 4 何が論点であるかを的確に捉え、解決に必要な要素や素材を整理し、解決までの段階的プロセスを示しながら、実行プランを作成すると共に、他者と共有することができる。

【協働力】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 自身の役割を作り、作業分担をしながら進めることができる。
- 3 自身の役割を作ると共に、作業分担者と連絡・調整しながら円滑な作業を行うことができる。
- 4 自身の役割を作ると共に、作業分担者と連絡・調整しながら円滑な作業を行うことができ、更にまとめ段階では全体を統括することができる。

【技術者倫理力】

- 1 能力として身に付いていない。
- 2 生命を尊重し、法令を遵守すると共に、データ改ざん、盗用、剽窃行為の禁止など基本的な倫理を理解している。
- 3 生命を尊重し、法令を遵守すると共に、データ改ざん、盗聴、剽窃行為の禁止など基本的な倫理を理解し、他者に説明することができる。
- 4 生命を尊重し、法令を遵守すると共に、データ改ざん、盗用、剽窃行為の禁止など基本的な倫理を理解し、自身のポリシーを確立して、他者に説明することができる。

③進路影響度及び進路満足度

